

令和6年5月16日

「BE THE LOVED COMPANY REPORT 2.0」を作成しました

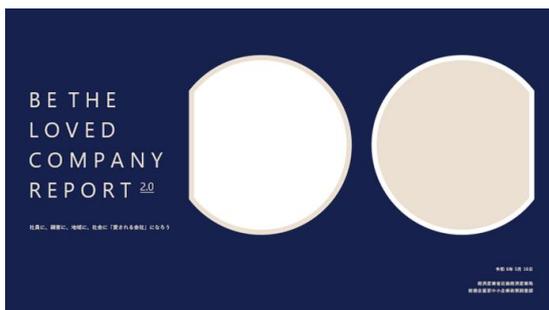
- 近畿経済産業局では、人を価値創出の源泉として社員の幸せを最大の目的とする「人的資本経営」を実践し、付加価値の向上を目指す企業経営の拡大と浸透のために、令和4年度から「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を推進しています。
- 令和5年度は、①中小企業8社の人的資本経営と企業価値との関係性の解像度の向上、②他社との対話を通じ、自社の人・組織作りに向き合う機会の創出、③各社の人的資本経営と主体的な社員が育つ取組の体系化を行い、社員の幸せを目的とした組織行動とその価値創出との相関にかかる「愛される会社」の価値転換モデル(概念図・案)を構築しました。

1. 概要

経済産業省では「産業構造審議会 経済産業政策新機軸部会」において、我が国経済の長期持続的な成長環境を構築すべく「国内投資拡大、イノベーション加速、国民所得向上の3つの好循環」を実現のため、地方と都会、大企業と中小企業といった格差解消を成長につなげつつ、域内需要の減少をもたらす少子化を食い止める「地域の包摂的成長」という考え方を重視しています。

その実現に向け、地域の核となる中堅・中小企業の役割に注目すると同時に、労働供給制約下における「良質な雇用」の解像度を高めることが重要です。

近畿経済産業局では、「人(社員)の幸せを中心に据えた経営」を実践する企業群の発掘と当該経営の共通項と再現性への可能性を探求、機運醸成を図るべく、55社の中堅・中小企業のご協力のもと、「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を実施。本年度事業を通じ、社員の幸せを目的とした組織行動と価値創出との相関を捉え「愛される会社」の価値転換モデル(概念図・案)を構築しました。



本年度、探求した「問い」

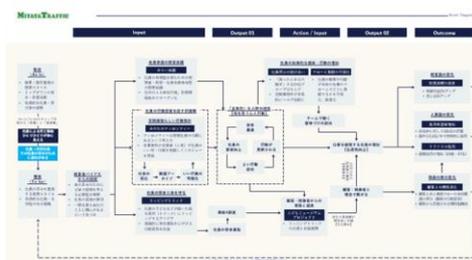
つながりをたどり、筋ぐ

「人(社員)の幸せを中心に据えた経営」を実践する企業群の発掘と当該経営の共通項と再現性への可能性を探求、機運醸成を図るべく、55社の中堅・中小企業のご協力のもと、「BE THE LOVED COMPANY PROJECT」を実施。本年度事業を通じ、社員の幸せを目的とした組織行動と価値創出との相関を捉え「愛される会社」の価値転換モデル(概念図・案)を構築しました。

2. 成果物(REPORT 2.0)のポイント (掲載企業は本体参照)

● 調査分析

- 「良質な雇用」を実践されている中小企業 8 社における人的資本経営と企業価値創出の関係性を整理し、企業の実践知とともにモデル化を実施。

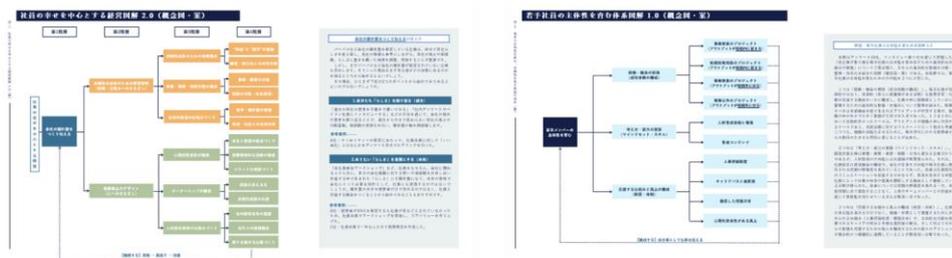


- 自律的組織構築に注力する企業経営者、自律して価値創出に取り組む若手中核人材、大企業から手本とされている人的資本経営の先進企業等の講演録・訪問録について記事化。



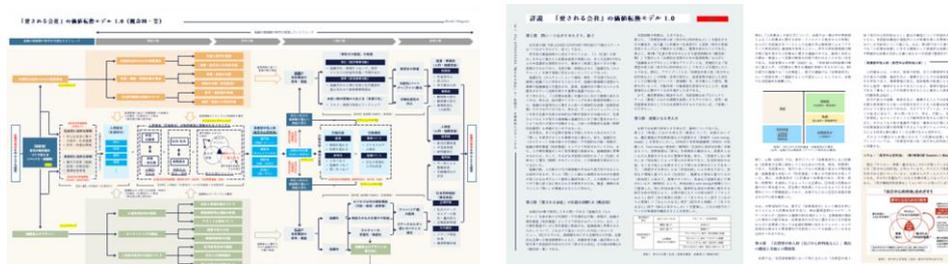
● 具体的事例

- 中堅・中小企業 55 社より得た、各社の人的資本経営の実践知ならびに主体的な社員が育つ取組を整理・統合し体系化を実施。



● 全体総括・モデル化

- 社員の幸せを目的とした組織行動とその価値創出との相関にかかると「愛される会社」の価値転換モデル(概念図・案)を構築。



(本発表資料のお問い合わせ先)

近畿経済産業局 総務企画部

中小企業政策調査課長 近藤

担当者: 沼本、伊藤

電話: 06-6966-6057

メール: bzl-kin-chushokigyoseisaku@meti.go.jp

